

## 1 勢田川とおりゃん瀬の撤去の必要性

平成29年10月に発生した台風第21号により伊勢市内の広範囲で浸水被害が発生したことを契機として、伊勢市・三重県・国土交通省が連携して「勢田川流域等浸水対策実行計画」を策定しました。現在までに同規模の洪水に対して浸水被害を軽減する堤防の嵩上げ、河道掘削を実施してきております。

令和4年度の河道掘削にあたり、過去（平成16年）、水質改善を目的として地域の方々と協働で計画、製作した「勢田川とおりゃん瀬」が支障となるため、本工事にて撤去することとなりました。

### 1 河道掘削の計画



## 2 平成29年10月洪水(台風第21号)の被害概要

伊勢市内では、台風による高潮・大雨のピークと満潮の時間帯が重なった影響もあり、雨水の排水不良による浸水に加えて、勢田川・桧尻川・汁谷川からの氾濫も生じ、広範囲で浸水被害が発生しました。この災害により1名の尊い命が失われ、床上浸水409戸、床下浸水670戸、店舗や倉庫等の浸水773戸の被害があったほか、道路冠水による通行止、停電なども市内各所で多数発生しました。

勢田川の河道掘削と堤防嵩上げにより、平成29年洪水と同規模の洪水が発生した場合に最大0.26mの水位低減効果が見込まれ、また堤防の嵩上げを行ったことにより勢田川の溢水を解消できると考えています。

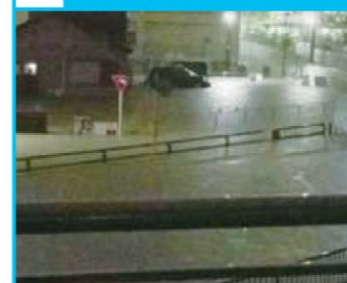
### 1 伊勢神宮外宮参道の浸水被害状況



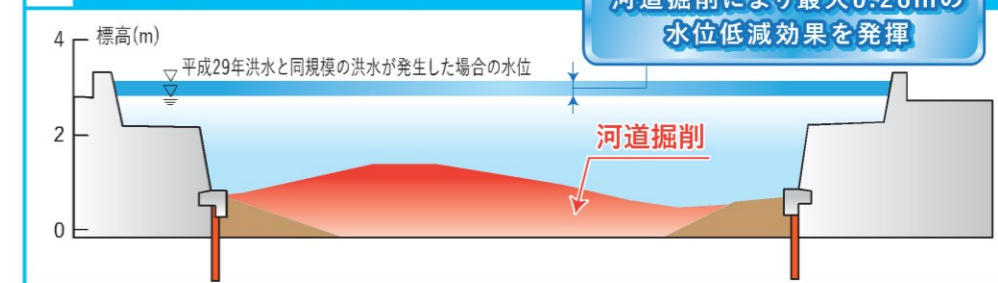
### 3 河道掘削の施工状況



### 2 桧尻川沿線(一之木5丁目)の浸水被害状況



### 4 横断図 (6.0k:八束橋下流)



## 3 勢田川とおりゃん瀬とは

伊勢市の市街地を流れる勢田川は、過去には5年連続でワースト1位になるなど全国的にも水質の悪い河川の一つであり、また底泥から悪臭が発生するなど大きな社会問題となっていました。そのため平成13年度より勢田川の水質改善を目的とした水環境整備事業により河道掘削に着手しました。

河道掘削の際に上流と下流で落差が生じた箇所に、対策が必要となったため、「勢田川きれいにプロジェクト」を立ち上げ沿川住民の方と一緒に構造や名称を決定しました。<sup>※1</sup>

※1 「勢田川の水が透きとおるように・・・」  
「勢田川に親しみを持ってたくさんの方が集まってくるように・・・」  
との願いで勢田川とおりゃん瀬の名称が決まりました。

水質浄化

大小さまざまな石を配置させて水質浄化

生き物

上流部の植生を保全

景観

自然素材を多用して、自然景観を演出



完成写真



# 河川改修に伴う「勢田川とおりゃん瀬」の撤去について

## 4 勢田川きれいにプロジェクト (SKiP) について

勢田川の水質改善や環境保全の取り組み河道掘削事業の進め方について、「市民自ら考え・行動して勢田川をきれいにしていこう！」を合い言葉に沿川住民らを中心として発足したワークショップ「勢田川きれいにプロジェクト(SKiP)<sup>※2</sup>」にて、勢田川とおりゃん瀬を設置しました。

※2 SetagawaのS、KireiniのKi、ProjectのPの頭文字をとって通称を「SKiP (スキップ)」

### 1 製作検討(H15年～)

地域の方と一緒に考えました



### 2 製作(H16年)

地域の方と一緒に製作しました



### 3 完成・清掃活動

多くのボランティアの方に参加頂きました



## 5 勢田川の水質

勢田川の水質は、とおりゃん瀬の施工前と比べて、下水道整備の進捗、平成8年から沿川住民の皆様により実施されている「七夕大そうじ」などの効果もあり水質を判断するBOD<sup>※3</sup>75%値が、約半分程度の数値となり、環境基準を満足するまで改善することができました。

※3 BOD(Biochemical Oxygen Demand)：河川の汚れを表す尺度です。  
水中の汚れ(有機物)は微生物により分解されますが、その時に消費される酸素の量をBODといい、その値が大きいほど水が汚れていることを表します。

七夕大そうじ



「勢田川を天の川に」をスローガンに毎年七夕前後に大掃除を実施しています。

下水道整備



下水道管の新設を実施しています。

下水道整備



下水道の理解・関心をさらに深めていただけるようにマンホール蓋にデザインを施しています。

## 6 勢田川の整備前後の写真

写真は約35年前と現在の同一箇所における比較です。



約35年前



約35年前



現在

清浄坊橋から下流を望む(4.4k)



現在

南新橋から下流を望む(4.0k)

## 7 最後に

勢田川とおりゃん瀬の設置以降、水質は改善傾向であり、設置当時の目的は達成されたものと考えております。一方、平成29年の台風第21号のような洪水に対しては整備途上の状況です。そのため、工事にてとおりゃん瀬を撤去することで、流域の皆様にご安心いただけるような河川整備をしてまいりますので、ご理解のほどよろしくお願いいたします。



勢田川流域等浸水対策緊急プロジェクト

川の字を模して、市・県・国が連携していくことを表現しています。左から伊勢市の青、三重県の緑、三重河川国道事務所の黄を表現しています。

